

# 平成 22 年度事業報告書

自 平成 22 年 4 月 1 日  
至 平成 23 年 3 月 31 日

社団法人 著作権情報センター

# 平成 22 年度事業報告書

平成 22 年度事業計画に基づき、以下のとおり実施した。

## 1. 著作権思想の普及に関する事業

### (1) 月刊「コピライト」誌の発行・配布事業 (SARVH 助成事業)

著作権・著作隣接権に関する専門情報誌として内容の充実を図るため、編集委員会において企画・検討を行ったうえ、毎月 3,290 部発行し、当センター会員・行政機関・大学・図書館協会および主な公共図書館・裁判所・都道府県教育委員会等に配布した。

### (2) パンフレット・冊子の作成・配布事業

「はじめての著作権講座～著作権って何?」(SARVH 受託事業)

6 月に 90,000 部作成し、前年度残と合わせて 102,176 部を配布した。

「はじめての著作権講座～こんなときあなたは? 著作権 Q & A」(SARVH 受託事業)

6 月に 60,000 部作成し、前年度残と合わせて 59,773 部を配布した。

「デジタル・ネットワーク社会と著作権」(SARVH 受託事業)

8 月に 70,000 部作成し、前年度残と合わせて 36,659 部を配布した。

「学校教育と著作権・ケーススタディ著作権 第 1 集」(sarah 第 1 種助成事業)

5 月に 65,000 部作成し、前年度残と合わせて 68,469 を配布した。

「私的録音録画と著作権・ケーススタディ著作権 第 2 集」(sarah 第 1 種助成事業)

5 月に 50,000 部作成し、前年度残と合わせて 55,239 部を配布した。

「図書館と著作権・ケーススタディ著作権 第 3 集」(SARVH 受託事業)

5 月に 50,000 部作成し、前年度残と合わせて 58,018 部を配布した。

「コミックでわかる著作権・おじゃる丸」(SARVH 受託事業)

7 月に 260,000 部作成し、前年度残と合わせて 206,897 部を配布した。昨年度同様、希望部数を配布する旨の案内状を、7 月に全国の小学校・教育委員会・教育事務所に送付し、要望のあった部数を配布した。

「Copyright System in Japan 2010」(SARVH 受託事業)

9 月に 1,000 部作成し、「東京特別研修」「アジア著作権会議(旧・東京セミナー)」の参加者・聴衆等のほか、関係団体・学識者・海外関係先等に 590 部を配布した。

「Copyright Law of Japan 2010」(SARVH 受託事業)

9 月に 1,500 部作成し、「東京特別研修」「アジア著作権会議(旧・東京セミナー)」の参加者・聴衆等のほか、当センター会員・関係団体・学識者・海外関係先等に 1,211 部を配布した。

### (3) 「著作権研修講座講演録」の作成・配布事業 (SARVH 受託事業)

実務者等を対象として 7 月に京都、10 月に東京にて開催した「平成 22 年度著作権研修講座」(6 頁 2-(2)参照)の講演内容を「C R I C 著作権研修講座講演録 2010」として 3 月に 1,800 部作成のうえ、研修講座受講者をはじめ、会員・著作権制度の研究者・公共図書館等に 1,749 部配布した。

### (4) 著作権情報誌「くれあとーれ」の配布事業 (SARVH 受託事業)

SARVH が発行する著作権情報誌「くれあとーれ」No.19・20・21 を、各々「コピライト」6 月・10 月・3 月号に同封して配布したほか、「市民のための著作権講座」の参加者等に配布した。

(5) 「著作権制度広報ビデオ(4 作品)」の貸出し・上映および解説冊子作成・配布事業 (SARVH 受託事業)

ビデオ教材ソフト 4 作品の無償貸出しを行ったほか、「市民のための著作権講座」「東京国際ブックフェア」「図書館総合展」等において上映した。

また、ビデオの内容に沿って著作権制度を解説した冊子を 15,000 部作成し、ビデオ貸出しの際、申込み時の視聴予定者数分を前年度残と合わせて 16,903 部配布した。

貸出し回数等は以下のとおりである。

作 品	貸出し回数	視聴人数
おじゃる丸「チョサクケンと3つの約束」	21 回	914 名
チャレンジ! コピーライトクイズ	28 回	1,185 名
上戸彩の著作権早わかり	112 回	9,648 名
著作権を知っていますか? ~著作物の私的使用~	62 回	5,156 名
合 計	223 回	16,903 名

なお、現行ビデオ 4 作品は、何れも製作後 5 年以上経過していることから、3 月に新たなビデオ 1 作品を製作した。

(6) ホームページによる情報提供事業

CRIC 事業の案内・告知 (自主事業)

当センターの事業 (月例著作権研究会・著作権研修講座・出版物等) の案内・告知を行った。年間のアクセス件数は 650,330 件であった。(へのアクセスを含む)

また、これらの案内をメールマガジンで配信した。

著作権制度普及のための情報提供 (SARVH 受託事業)

『著作権 Q&A シリーズ』の「QA ページ」情報の 2010 年版への更新、『著作権データベース』の「著作権関係法令」の更新および「著作権文献資料目録 2008」の追加、『著作権審議会報告』への情報の追加、『外国著作権法令集』への「英国編」「韓国編」の追加、『出版物案内』の「無償パンフレット」のデジタル・ブック化のほか、サイトマップの図式化を行った。

また『英語版』ページでは「無償パンフレット英語版」「Copyright Law of Japan」「Copyright System in Japan」の 2010 年版への更新を行った。

「KIDS CRIC(コピーライト・ワールド 楽しく学ぶ著作権)」(SARVH 受託事業)

『クイズ・ゲームの広場』の「コピーライト道場・上級編」に旧版を再掲載し現行版との並行運営、「コピーライト・アドベンチャー・アイヌラックルの冒険」への Q A 10 問の追加、『みんなの掲示板』の随時更新、おじゃる丸キャラクターの音声追加を行ったほか、サイト内メンテナンスを行った。

年間のアクセス件数は、245,077 件であった。

(7) 「著作権相談室」における電話・面接相談事業 (SARVH 受託事業)

連日 2 名の相談員が常駐し一般からの電話相談に応じるとともに、毎月 2 回の面接相談を実施した。年間の相談件数は 6,452 件 (電話: 6,390 件、面接: 62 件) であった。

また、7 月開催の「東京国際ブックフェア」および 11 月開催の「図書館総合展」において、ブース内に著作権相談コーナーを開設し、相談員が来場者からの質問や相談に応じた。

(8) 「東京国際ブックフェア」「図書館総合展」への出展事業 (SARVH 受託事業)

7 月 8 日から 11 日に東京ビッグサイトにおいて開催された「第 17 回東京国際ブックフェア」、および 11 月 24 日から 26 日にパシフィコ横浜において開催された「第 12 回図書館総合展」にブースを出展し、当センター並びに SARVH の事業案内・著作権制度広報パンフレット等の配布、著作権制度広報ビデオの上映、有料書籍の紹介等を行った。

また、図書館総合展では、国立国会図書館の南亮一氏を講師に迎え、「図書館と著作権」をテーマとしたフォーラムを開催し、140 名の参加があった。

(9) 「第8回著作権・著作隣接権論文」の募集事業 (SARVH 受託事業)

5月開催の論文審査委員会において、募集要項・ポスター・実施スケジュールを決定し、6月に募集要項およびポスターを作成のうえ、全国の大学・大学院等へ送付するとともに、関係団体・研究者・学識者等の協力を得て、関係先への募集案内・告知を行った。応募期限の平成23年3月末日までに26件の応募があった。なお、応募論文の審査・表彰は平成23年度に実施する。

(10) 全国主要都市における「市民のための著作権講座」の開催事業 (SARVH 受託事業)

以下の6都市で実施した。なお、開催に際しては、開催地の教育委員会・放送局・新聞社等の後援を得た。

開催日 / 開催地 / 会場	講師 / 「演題」	受講者数
5月28日 愛知県 名古屋市 名古屋国際センター	大家 重夫 (久留米大学名誉教授) 「著作権とはどんな権利か」 前田 哲男 (弁護士) 「日常生活で著作物を利用するには」	173名
6月25日 大阪府 大阪市 梅田センタービル	半田 正夫 (青山学院大学名誉教授) 「私たちの身近な著作権 ～わが国における著作権制度の関連において～」 北村 行夫 (弁護士) 「『デジタル出版』の登場と著作権の仕組み」	154名
7月30日 静岡県 浜松市 サーラシティ浜松	阿部 浩二 (岡山大学名誉教授) 「著作権法の生成と100余年の歩み」 神谷 信行 (弁護士) 「日常生活のなかの音楽著作権」	88名
9月17日 群馬県 前橋市 前橋テルサ	半田 正夫 (青山学院大学名誉教授) 「私たちの身近な著作権 ～わが国における著作権制度の関連において～」 福井 健策 (弁護士) 「ビジネス・ネット・日常生活の著作権知識」	84名
11月19日 愛媛県 松山市 メルパルク松山	阿部 浩二 (岡山大学名誉教授) 「著作権法の生成と100余年の歩み～日常生活に即して」 三山 裕三 (弁護士) 「アイデア及び表現と翻案(物)等の位置づけ」	38名
2月18日 福岡県 福岡市 エルガーラホール	土肥 一史 (日本大学大学院知的財産研究科教授) 「私たちの生活の中の著作権法」 三山 峻司 (弁護士) 「著作権侵害の分岐点～著作物の類似判断を探る～」	163名

合計 700名

(11) 「著作権特別講演会」の開催事業 (SARVH 受託事業)

文化庁長官官房著作権課長 永山裕二氏を講師に迎え、8月20日に大阪(難波別院御堂会館)、8月25日に東京(明治記念館)において、「著作権行政をめぐる最新の動向について」との演題で講演会を行った。両会場とも定員を超える事前申し込みを受け、大阪119名、東京359名の参加があった。

(12) 留学生海外派遣事業 (SARVH 受託事業)

「平成23年度在外研修員」の募集を7月に開始し、応募期限の平成23年1月末までに1名の応募があったが、既に他団体の在外研修員として内定を得ているとのことから、採用を見送った。

また、平成20年8月から2年間 カリフォルニア大学バークレー校ロースクールに派遣していた「平成20年度在外研修員」の研修が7月に、平成21年9月から1年間 ミュンヘンのマックス・プランク研究所に派遣していた「平成21年度在外研修員」の研修が8月に、それぞれ終了した。

なお、「平成 22 年度在外研修員」の派遣については、平成 21 年度に実施した募集に応募がなかったことから、実施しなかった。

## 2. 著作権等に関する内外の情報の収集および提供

### (1) 資料室における図書資料等の収集および提供事業 (SARVH 受託事業)

8 月、11 月および 1 月に図書選定委員会を開催し、収集図書・資料の選定を行った。平成 22 年度末の蔵書登録数は 28,642 冊 (昨年度末より 2,986 冊増)、年間の利用者数は延べ 254 名であった。

### (2) 「著作権文献・資料目録 2009」の発行・配布事業 (SARVH 受託事業)

平成 21 年(2009 年)1 月 1 日から 12 月 31 日までの間に公表された国内の著作権等に関する書籍・論文等を調査し、これらを分類・整理のうえ目録として 3 月に 1,750 部発行し、当センター会員・学識者・主要な公共図書館等に 1,609 部を配布した。

この目録は、毎年発行しており、2009 年版は 24 冊目の発行となる。なお、この文献・資料目録は、ホームページの著作権データベースにその情報を追加収録し、研究者等の便宜に供している。

### (3) 「外国著作権法令集(英国編)」、「同(韓国編)」の翻訳・作成・配布事業 (SARVH 受託事業)

英国編を 12 月に、韓国編を 2 月に、それぞれ 1,300 部作成し、当センター会員・著作権研究者・実務者等に配布するとともに、ホームページにも掲載し、研究者等の便宜に供している。

## 3. 著作権制度又は著作権等の実務に関する研修 (自主事業)

### (1) 月例著作権研究会の開催事業

講師、講演内容の依頼に際しては、多様な観点からの講演となるよう企画・検討を行い、アルカディア市ヶ谷において、以下のとおり実施した。

なお、3 月 22 日に開催を予定していた 3 月著作権研究会は、東日本大震災の影響から開催を取止めた。

開催日	講師 / 「演題」	受講者数
4 月 14 日	三山 裕三 (弁護士) 「判例に見る翻案権侵害の判断基準」	119 名
5 月 21 日	齋藤 浩貴 (弁護士) 「海外ライセンス契約、提携契約の諸問題」	117 名
6 月 16 日	升本 喜郎 (弁護士) 「エンタテインメント契約の解釈を巡る実務上の問題」	143 名
7 月 26 日	三村 量一 (弁護士) 「マスメディアによる著作物の利用と著作権法」	175 名
9 月 22 日	宮下 佳之 (弁護士) 「コンテンツ配信事業を取り巻く著作権法上の諸問題と実務対策」	128 名
10 月 21 日	北村 行夫 (弁護士) 「閲覧端末の登場と著作権者の課題」	71 名
11 月 12 日	柵木 澄子 (東京地方裁判所民事第 47 部裁判官) 「最近の著作権裁判例について」	124 名
12 月 9 日	前田 哲男 (弁護士) 「『思想・感情の創作的な表現』とは何か」	130 名
1 月 20 日	道垣内 正人 (早稲田大学法科大学院教授) 「著作権に関する国際裁判管轄と準拠法」	90 名
2 月 21 日	鈴木 道夫 (弁護士) 「舞台芸術における著作物の利用と著作権法上の諸問題」	118 名

合計 1,215 名

## (2) 著作権研修講座の開催事業

東京（関東地区）および京都（関西地区）において、「コンテンツの活用におけるコンプライアンス対策と著作権制度」をテーマに、以下のとおり実施した。

開催日 / 会場	コース / 講師 / 「演題」	受講者数
《東京》 7月15・16日 アカガイヤ市ヶ谷  《京都》 10月7・8日 京都ガーデンパレス	第1日目 Aコース ・福井 健策（弁護士） 「ビジネスに役立つ著作権の基礎と実務 2010」 Bコース ・小泉 直樹（慶應義塾大学大学院教授） 「著作物利用の際の注意点について」 ・鈴木 和典（東京地方裁判所裁判官 / 関東地区） ・山下 隼人（大阪地方裁判所裁判官 / 関西地区） 「最近の著作権裁判例について」	東京 146名 京都 64名 合計 210名
	第2日目（A・Bコース共通） ・五十嵐 敦（弁護士） 「すぐに役立つ著作権契約の類型別チェックポイント」 ・別所 直哉（ヤフー株式会社最高コンプライアンス責任者・法務本部長） 「インターネットサービス事業者とコンプライアンス」 ・早稲田 祐美子（弁護士） 「コンテンツ活用における著作権法とその周縁」	

## 4. 著作権制度に関する調査研究

附属著作権研究所において、以下の調査・研究を実施した。

### (1) 著作権法と不正競争防止法に関する調査・研究事業（SARVH受託事業）

附属著作権研究所に7名の委員からなる「著作権法と不正競争防止法委員会」を設置し、4回の委員会を開催した。

委員会においては、「著作権法と不競法との重複保護の可能性」「商品形態の著作権法と不競法による保護、問題点」「コピーコントロールとアクセスコントロールの著作権法と不競法による規制」「日本法における技術的保護手段の取扱い」等について検討・討議を行った。

なお、本調査研究は、平成22・23・24年度の3年間に亘って継続実施する予定の事業である。

### (2) 著作権と表現の自由に関する調査・研究事業（SARVH受託事業）

附属著作権研究所に9名の委員からなる「著作権と表現の自由委員会」を設置し、6回の委員会を開催した。

第3回委員会においては「プライバシー、個人情報保護の国際的整合性と独立データ保護機関」に関し一橋大学名誉教授の堀部政男氏を、第5回委員会では「表現の自由」に関し東京大学名誉教授の奥平康弘氏を、また第6回委員会では「パロディ等」に関し作家の奥泉光氏を招聘し、それぞれの専門的立場からの知見を参考として、検討・討議を行った。

なお、本調査研究は、平成22・23・24年度の3年間に亘って継続実施する予定の事業である。

## 5. 著作権等の保護に関する国際協力・国際交流

### (1) アジア著作権会議（旧・東京セミナー）の開催事業（sarah第1種助成事業）

文化庁との共催で、平成23年2月23・24日の2日間、京王プラザホテルにおいて、「国境を越えた著作権保護のための連携」をテーマに「第2回アジア著作権会議」を開催した。今回のアジア著作権会

議には、中国・韓国・タイ・英国・米国の政府関係者5名、WIPO 著作権法課長1名、日本および海外の民間団体から3名をスピーカーとして招聘した。

1日目は、WIPO 著作権法課長リチャード・オーウェンス氏の基調講演「国境を超えた著作権保護の現状と課題」の後、日本・中国・韓国・タイ・英国・米国の政府関係者から、各国における著作権保護に関する取組が、また2日目午前中には、日本および海外の民間団体(CODA・IFPI・MPA)から、各団体における著作権保護に関する取組が発表された。2日目午後の全体協議においては、著作権保護に関し、急速な状況の変化に柔軟に対応できる国際連携に向けての検討・協議が行われた。

## (2) アジア地域 著作権・著作隣接権のエンフォースメントに関する特別研修(東京特別研修)の開催事業 (sarah 第1種助成事業)

平成22年10月18日から29日までの12日間、当センター会議室を主会場として、著作権のエンフォースメントに直接携わる中国・インド・フィリピン・タイ・カンボジアの税関職員12名の参加を得て、「アジア地域 著作権・著作隣接権のエンフォースメントに関する特別研修」を開催した。

本事業は、WIPO と文化庁が協力して実施する「アジア地域著作権制度普及促進事業(通称 APACE プログラム)」の一環として毎年行われているもので、今回で17回目となる。

今年度の研修の内容は、「日本における著作権制度の概要と最近の動向」「著作権・著作隣接権に関する国際的な法的枠組みと現在の動向」「著作権法の概要」という総論のほか、警察庁・東京地裁・東京税関・弁護士および関係団体職員等を講師として、各分野での著作権侵害の現状とエンフォースメント等について講義が行われた。

また、各研修生が、自国の著作権制度の整備状況や海賊版などの取締りの現状等について報告した後、活発な意見交換や討論が行われた。

## 6. 著作権等に関する図書の出版(自主事業)

### (1) 継続販売

- 「著作権法百年史」
- 「著作権法逐条講義(五訂新版)」
- 「著作権関係法令集 平成22年版」
- 「著作権法講座 第2版」
- 「ライブ・エンタテインメントの著作権」
- 「映画・ゲームビジネスの著作権」
- 「音楽ビジネスの著作権」
- 「出版・マンガビジネスの著作権」

### (2) 改訂版の発行・販売

- 「著作権法入門 2010-2011」  
改訂版を9月に発行した。
- 「実務者のための著作権ハンドブック 第8版」  
改訂版を3月に発行した。
- 「著作権法逐条講義(六訂新版)」

平成21年度までの著作権法改正を反映した改訂版の発行を予定していたが、平成23年の通常国会にフェアユースやアクセスコントロール等に関する法案が提出されるとのことから、本年度の発行は見送り、法案成立後、これらの改正法を反映したうえで、平成23年度に発行することとした。

### (3) 新刊図書の発行・販売

- 「そこが知りたい 著作権Q & A 100 ~CRIC 著作権相談室から~」

月刊「コピライト」誌に、平成12年5月号から連載している「Q & A (著作権相談から)」から厳選した100問を、加筆・訂正のうえ、書籍として3月に発行した。

## 7. 著作権法百年記念基金事業

### (1) 著作権教育実践校に対する顕彰の実施

全国の小・中・高等学校を対象として、著作権教育に関する実践事例を募集し、優秀な事例や著作権教育のモデルとなる事例を顕彰する本事業は、今回で6回目を迎えた。1月20日開催の選考委員会において、以下のとおり入賞事例を選考し、表彰状とともに、賞品(希望する教育機材等)を贈呈した。

また、著作権教育の参考として活用してもらうため、前年度に実施した第5回の入賞実践事例をホームページに追加公開した。

賞名称	入賞校名 / 「教育活動名」	対象学年	授業科目
最優秀賞	新潟県 長岡市立上組小学校 「自分の作品・人の作品、大切に作る気持ちを深めよう - 体験した活用場面をもとに話し合うルール作り活動を通して - 」	小学6年生	総合 / 道徳
優秀賞	山形県 米沢市立第二中学校 「中学国語における引用の授業」	中学1年生	国語
〃	大阪府 羽衣学園高等学校 「英語で情報化社会の光と影」	高校2年生	情報A/英語
優良賞	青森県 弘前市立第一中学校 「Webサイトを作成し、自分の興味のあることを紹介しよう - あなたの発信する情報は大丈夫?トラブルから学ぶ著作権 - 」	中学1年生	技術家庭
〃	山梨県 県立増穂商業高等学校 「著作権で文化の発展を守ろう - 著作権の意義を学ぶ - 」	高校1年生	国語表現
〃	岡山県 山陽女子高等学校 「クリエイティブコモンズの可能性 - クラス解散後の共同著作物をどう管理するか? 」	高校1年生	情報A
モデル教育賞	愛知県 岡崎市立井田小学校 「ビデオ制作を通して、著作権利用のマナーを身につける」	小学1-6年生	総合 / 道徳

なお、第6回入賞実践事例のホームページでの公開は、平成23年度事業として実施の予定である。

### (2) 著作権教育モデルカリキュラムの研究・開発

各学校におけるより積極的な著作権教育への取り組みを支援することを目的として、平成20年度に着手した「児童生徒の発達段階に応じた著作権教育モデルカリキュラム」の研究・開発は、委託先に設置された「著作権教育カリキュラム開発委員会」において、小・中・高等学校ごとのモデル・カリキュラムの開発および概要を紹介する冊子の作成を完了した。

なお、冊子の配布およびモデル・カリキュラムのホーム・ページでの公開は、平成23年度事業として実施の予定である。

### (3) 学校における著作権意識等に関する実態調査の実施

著作権教育推進に資するための基礎資料の収集・整理・分析を行うことを目的とした「学校における著作権教育アンケート調査」を、全国の国立・公立・私立の小・中・高等学校、中等教育学校(中高一貫教育校)、特別支援学校(盲学校・聾学校・養護学校等)約4,000校を対象に、7月中旬から9月中旬までの2ヶ月に亘り実施し、1,467校から回答が寄せられた。

これらの回答内容を、委託先に設置された「学校著作権アンケート調査分析委員会」において整理・分析のうえ、「学校における著作権教育アンケート調査報告書」を3月に300部作成し、正会員団体・都道府県立図書館等に配布するとともに、ホームページにも掲載し、教育関係者の便宜に供している。

## 8. 公益法人制度改革への対応

公益法人制度改革への対応については、4月以降、事務局において公益社団法人への移行に向けての検討を行うのと並行して、新日本有限責任監査法人に現状分析を依頼した。

現状分析の結果、「現在 CRIC が実施している個々の事業は、公益認定基準に照らしてすべて公益目的の事業であると考えられ、また、財務等も公益認定基準を満たしえると考えられる」との意見を得られたことから、平成 23 年 3 月 24 日開催の総会において、平成 24 年 4 月に公益社団法人へ移行することを諮り承認を得た。

また、その後の予定として、平成 23 年 6 月開催の総会において、定款変更案及び規程案の承認、並びに移行後最初に就任する役員の選任を行い、更に移行認定申請書類を作成した後、臨時理事会にて申請書類についての承認を得たうえで、内閣府（公益認定等委員会）へ申請書類を提出する旨の報告を行った。

## 9. 機関紙の発行

当センターの活動状況を会員に周知するための機関紙「The CRIC」を、4回（4月・7月・11月・1月）発行・配布した。

## 10. 会員の異動状況

平成 22 年度の会員の異動状況は以下のとおりである。

	平成 21 年度末	平成 22 年度			平成 22 年度末
		入会	退会	増減	
正会員	28	0	0	0	28
賛助会員	751	21	36	-15	736
合計	779	21	36	-15	764
研究所協賛会員	21	0	0	0	21

## 11. その他

- (1) 著作物の裁定利用に関する権利者捜しのポータルサイトを当センターのホームページに掲載し、運用した。
- (2) デジタル時代の著作権協議会(CCD)の委託を受け、その事務局を所掌した。
- (3) 国際著作権法学会日本支部（ALAI JAPAN）の委託を受け、その事務局を所掌した。

以上

# 平成22年度 決算報告書

自 平成22年4月 1日  
至 平成23年3月31日

# 貸借対照表

平成23年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	145,456,732	129,708,777	15,747,955
未 収 会 費	1,487,000	1,149,000	338,000
立 替 金	37,642	10,884	26,758
前 払 費 用	3,497,934	3,795,093	297,159
内 部 勘 定	40,258,678	42,217,715	1,959,037
流動資産合計	190,737,986	176,881,469	13,856,517
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	21,918,200	19,584,700	2,333,500
減 価 償 却 引 当 資 産	21,392,097	21,172,454	219,643
特定資産合計	43,310,297	40,757,154	2,553,143
(3) その他固定資産			
建 物 附 属 設 備	15,282,380	15,282,380	0
什 器 備 品	6,682,680	6,682,680	0
リ ー ス 入 資 産	3,640,980	3,640,980	0
減 価 償 却 累 計 額	22,909,172	21,961,333	947,839
その他固定資産合計	2,696,868	3,644,707	947,839
固定資産合計	56,007,165	54,401,861	1,605,304
資産合計	246,745,151	231,283,330	15,461,821
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	1,754,345	3,927,293	2,172,948
未 払 費 用	27,375	58,366	30,991
前 受 金	2,500	7,000	4,500
前 受 会 費	126,000	313,000	187,000
預 り 金	1,018,440	310,165	708,275
賞 与 引 当 金	2,897,000	2,398,000	499,000
リ ー ス 債 務 ( 短 期 )	727,268	701,757	25,511
内 部 勘 定	1,391,050	357,685	1,033,365
流動負債合計	7,943,978	8,073,266	129,288
2. 固定負債			
リ ー ス 債 務 ( 長 期 )	1,534,815	2,262,083	727,268
退 職 給 付 引 当 金	21,918,200	19,584,700	2,333,500
固定負債合計	23,453,015	21,846,783	1,606,232
負債合計	31,396,993	29,920,049	1,476,944
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	500,000	500,000	0
指定正味財産合計	500,000	500,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 500,000)	( 500,000)	( 0)
2. 一般正味財産	214,848,158	200,863,281	13,984,877
(うち基本財産への充当額)	( 9,500,000)	( 9,500,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 21,392,097)	( 21,172,454)	( 219,643)
正味財産合計	215,348,158	201,363,281	13,984,877
負債及び正味財産合計	246,745,151	231,283,330	15,461,821

# 正味財産増減計算書

平成22年 4月 1日から平成23年 3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 12,700]	[ 28,750]	[ 16,050]
基本財産受取利息	12,700	28,750	16,050
特定資産運用益	[ 225,871]	[ 1,250]	[ 224,621]
特定資産受取利息	225,871	1,250	224,621
受取入会金	[ 380,000]	[ 500,000]	[ 120,000]
賛助会員受取入会金	380,000	500,000	120,000
受取会費	[ 76,928,270]	[ 77,582,390]	[ 654,120]
正会員受取会費	41,750,000	42,050,000	300,000
賛助会員受取会費	35,178,270	35,532,390	354,120
事業収益	[ 17,099,000]	[ 19,244,000]	[ 2,145,000]
研修会会費収益	8,431,000	8,829,000	398,000
研究会会費収益	8,668,000	10,415,000	1,747,000
受取負担金収益	[ 30,387,995]	[ 32,442,237]	[ 2,054,242]
第一種助成事業受取管理費負担金	2,908,841	5,103,843	2,195,002
受託事業受取管理費負担金	27,479,154	27,338,394	140,760
雑収益	[ 3,552,682]	[ 3,522,051]	[ 30,631]
受取利息	69,252	84,951	15,699
C C D 負担金収益	1,260,000	1,260,000	0
情報交換会会費収益	1,650,000	1,370,000	280,000
その他雑収益	573,430	807,100	233,670
経常収益計	128,586,518	133,320,678	4,734,160
(2) 経常費用			
事業費	[ 72,890,356]	[ 77,207,327]	[ 4,316,971]
給料手当	10,113,331	15,650,371	5,537,040
賞与引当金繰入額	1,893,000	2,242,000	349,000
出向者費用	1,440,000	1,423,000	17,000
退職給付費用	9,727,500	4,253,720	5,473,780
法定福利費	1,197,700	1,161,600	36,100
法定福利費	1,638,344	1,962,881	324,537
会議費	3,934,519	4,109,112	174,593
旅費交通費	654,177	622,295	31,882
通信運搬費	1,585,153	1,803,456	218,303
リース償却費	560,150	560,150	0
消耗品費	158,673	88,083	70,590
事務用消耗品費	473,651	647,650	173,999
印刷製本費	1,062,455	2,363,700	1,301,245
水道光熱費	394,774	412,380	17,606
賃借料	27,993,656	27,993,656	0
リース料	664,035	827,110	163,075
渉外費	2,297,137	2,888,016	590,879
諸謝金	1,286,646	1,339,424	52,778
租税公課	100,400	100,700	300
資材購入費	603,000	522,950	80,050
広報伝費	1,173,918	2,201,156	1,027,238
インターネット費	2,572,710	2,604,210	31,500
支払手数料	108,370	133,905	25,535
支払利息(リ-ス)	72,741	64,178	8,563
雑費	1,184,316	1,231,624	47,308
管理費	[ 36,915,561]	[ 37,807,281]	[ 891,720]

科 目	当年度	前年度	増 減
給 料 手 当	13,751,695	17,041,279	3,289,584
賞 与 引 当 金 繰 入 額	3,467,000	2,202,000	1,265,000
出 向 者 費 用	1,457,000	975,000	482,000
退 職 給 付 費 用	2,752,980	0	2,752,980
法 定 福 利 費	1,135,800	695,000	440,800
福 利 厚 生 費	2,511,082	2,131,369	379,713
退 職 金 ・ 慰 労 金 等	126,612	579,077	452,465
会 議 費	300,000	600,000	300,000
旅 費 交 通 費	101,600	103,583	1,983
通 信 運 搬 費	144,640	151,680	7,040
リ ー 入 減 価 償 却 費	406,225	339,732	66,493
減 価 償 却 費	168,046	168,046	0
消 耗 品 費	219,643	216,363	3,280
事 務 用 消 耗 品 費	44,583	270,736	226,153
修 繕 費	1,244,124	1,106,596	137,528
水 道 光 熱 費	11,550	57,080	45,530
賃 借 料	67,221	72,465	5,244
顧 問 料	4,919,173	4,919,173	0
リ ー 入 料	1,995,000	1,470,000	525,000
渉 外 費	295,613	295,587	26
租 税 公 課	20,000	130,350	110,350
支 払 手 数 料	1,050,483	2,840,086	1,789,603
支 払 利 息 (リ-入)	269,670	927,130	657,460
雑 費	21,822	55,002	33,180
他 会 計 へ の 繰 出 額	433,999	459,947	25,948
附 属 研 究 所 会 計 へ の 繰 出 額	[ 4,795,724 ]	[ 2,417,562 ]	[ 2,378,162 ]
第 二 種 助 成 会 計 へ の 繰 出 額	214,077	1,337,932	1,123,855
助 成 会 計 へ の 繰 出 額	0	285,100	285,100
經常費用計	4,581,647	794,530	3,787,117
評価損益等調整前当期經常増減額	114,601,641	117,432,170	2,830,529
損益評価等計	13,984,877	15,888,508	1,903,631
当期經常増減額	0	0	0
2 . 經常外増減の部	13,984,877	15,888,508	1,903,631
(1) 經常外収益			
法 人 税 等 還 付 金	[ 0 ]	[ 10,151,800 ]	[ 10,151,800 ]
經常外収益計	0	10,151,800	10,151,800
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	10,151,800	10,151,800
当期一般正味財産増減額	13,984,877	26,040,308	12,055,431
一般正味財産期首残高	200,863,281	174,822,973	26,040,308
一般正味財産期末残高	214,848,158	200,863,281	13,984,877
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000	500,000	0
指定正味財産期末残高	500,000	500,000	0
正味財産期末残高	215,348,158	201,363,281	13,984,877

## 財務諸表に対する注記

【一般会計】

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物附属設備及び什器備品は、定額法による減価償却を実施している。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による減価償却を実施している。

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給付の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金は、職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	-	-	10,000,000
小計	10,000,000	-	-	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	19,584,700	2,333,500	-	21,918,200
減価償却引当資産	21,172,454	219,643	-	21,392,097
小計	40,757,154	2,553,143	-	43,310,297
合計	50,757,154	2,553,143	-	53,310,297

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(500,000)	(9,500,000)	-
小計	10,000,000	(500,000)	(9,500,000)	-
特定資産				
退職給付引当資産	21,918,200	-	-	(21,918,200)
減価償却引当資産	21,392,097	-	(21,392,097)	-
小計	43,310,297	-	(21,392,097)	(21,918,200)
合計	53,310,297	(500,000)	(30,892,097)	(21,918,200)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	15,282,380	14,976,727	305,653
什器備品	6,682,680	6,415,370	267,310
リース資産	3,640,980	1,517,075	2,123,905
計	25,606,040	22,909,172	2,696,868

### 5. 所有権移転外ファイナンス・リース取引関係

#### (1) リース資産の内容

その他固定資産

事務所におけるサーバー、コンピュータ等(什器備品)である。

#### (2) 利息相当額の処理方法

利息法により配分している。

# 貸借対照表

平成23年 3月31日現在

著作権法百年記念基金事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	12,561,093	6,651,300	5,909,793
流動資産合計	12,561,093	6,651,300	5,909,793
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
百 年 記 念 基 金 資 産	15,942,365	28,491,623	12,549,258
特定資産合計	15,942,365	28,491,623	12,549,258
固定資産合計	15,942,365	28,491,623	12,549,258
資産合計	28,503,458	35,142,923	6,639,465
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	10,291,996	2,735,386	7,556,610
内 部 勘 定	2,269,097	3,915,914	1,646,817
流動負債合計	12,561,093	6,651,300	5,909,793
負債合計	12,561,093	6,651,300	5,909,793
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	15,692,819	28,253,912	12,561,093
指定正味財産合計	15,692,819	28,253,912	12,561,093
(うち特定資産への充当額)	( 15,692,819)	( 28,253,912)	( 12,561,093)
2. 一般正味財産	249,546	237,711	11,835
(うち特定資産への充当額)	( 249,546)	( 237,711)	( 11,835)
正味財産合計	15,942,365	28,491,623	12,549,258
負債及び正味財産合計	28,503,458	35,142,923	6,639,465

# 正味財産増減計算書

平成22年 4月 1日から平成23年 3月31日まで

著作権法百年記念基金事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[ 11,835]	[ 27,367]	[ 15,532]
特定資産受取利息	11,835	27,367	15,532
受取寄付金	[ 12,561,093]	[ 4,947,346]	[ 7,613,747]
受取寄付金	12,561,093	4,947,346	7,613,747
経常収益計	12,572,928	4,974,713	7,598,215
(2) 経常費用			
事業費	[ 12,561,093]	[ 4,947,346]	[ 7,613,747]
給料手当	160,000	360,000	200,000
会議費	19,526	126,350	106,824
旅費交通費	8,300	6,400	1,900
通信運搬費	52,835	37,485	15,350
消耗品費	42,057	51,783	9,726
水道光熱費	11,340	0	11,340
諸謝金	1,087,369	1,121,499	34,130
広報宣伝費	635,250	639,408	4,158
インターネット費	252,420	242,655	9,765
委託費	10,291,996	2,361,766	7,930,230
経常費用計	12,561,093	4,947,346	7,613,747
評価損益等調整前当期経常増減額	11,835	27,367	15,532
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	11,835	27,367	15,532
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	11,835	27,367	15,532
一般正味財産期首残高	237,711	210,344	27,367
一般正味財産期末残高	249,546	237,711	11,835
指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	[ 12,561,093]	[ 4,947,346]	[ 7,613,747]
一般正味財産への振替額	12,561,093	4,947,346	7,613,747
当期指定正味財産増減額	12,561,093	4,947,346	7,613,747
指定正味財産期首残高	28,253,912	33,201,258	4,947,346
指定正味財産期末残高	15,692,819	28,253,912	12,561,093
正味財産期末残高	15,942,365	28,491,623	12,549,258

## 財務諸表に対する注記

【著作権法百年記念基金事業会計】

### 1.重要な会計方針

#### (1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2.特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
百年記念基金資産	28,491,623	11,835	12,561,093	15,942,365
合 計	28,491,623	11,835	12,561,093	15,942,365

### 3.特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
百年記念基金資産	15,942,365	(15,692,819)	(249,546)	-
合 計	15,942,365	(15,692,819)	(249,546)	-

### 4.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金額
経常収益への振替額	
事業費の計上による振替額	12,561,093
合 計	12,561,093

# 貸借対照表

平成23年 3月31日現在

附属著作権研究所事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	28,332,341	20,814,018	7,518,323
流動資産合計	28,332,341	20,814,018	7,518,323
資産合計	28,332,341	20,814,018	7,518,323
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	4,160	1,735	2,425
預 り 金	3,300	34,080	30,780
内 部 勘 定	4,466,498	320,250	4,146,248
流動負債合計	4,473,958	356,065	4,117,893
負債合計	4,473,958	356,065	4,117,893
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	23,858,383	20,457,953	3,400,430
正味財産合計	23,858,383	20,457,953	3,400,430
負債及び正味財産合計	28,332,341	20,814,018	7,518,323

# 正味財産増減計算書

平成22年 4月 1日から平成23年 3月31日まで

附属著作権研究所事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	[ 10,410,000]	[ 10,410,000]	[ 0]
協 賛 会 員 受 取 会 費	10,410,000	10,410,000	0
雑 収 益	[ 6,701]	[ 7,496]	[ 795]
受 取 利 息	6,701	7,496	795
他 会 計 か ら の 繰 入 額	[ 214,077]	[ 1,337,932]	[ 1,123,855]
一 般 会 計 か ら の 繰 入 額	214,077	1,337,932	1,123,855
経常収益計	10,630,778	11,755,428	1,124,650
(2) 経常費用			
事 業 費	[ 7,230,348]	[ 9,012,250]	[ 1,781,902]
給 料 手 当	3,830,420	5,501,930	1,671,510
法 定 福 利 費	11,618	16,663	5,045
会 議 費	16,515	17,856	1,341
旅 費 交 通 費	102,600	115,020	12,420
通 信 運 搬 費	76,148	90,837	14,689
消 耗 品 費	40,923	70,435	29,512
水 道 光 熱 費	28,371	30,585	2,214
賃 借 料	2,076,153	2,076,153	0
リ ー ス 料	225,052	260,983	35,931
イ ン タ ー ネット 費	725,760	730,800	5,040
支 払 手 数 料 費	13,020	17,220	4,200
雑 費	83,768	83,768	0
経常費用計	7,230,348	9,012,250	1,781,902
評価損益等調整前当期経常増減額	3,400,430	2,743,178	657,252
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	3,400,430	2,743,178	657,252
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,400,430	2,743,178	657,252
一般正味財産期首残高	20,457,953	17,714,775	2,743,178
一般正味財産期末残高	23,858,383	20,457,953	3,400,430
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	23,858,383	20,457,953	3,400,430

## 財務諸表に対する注記

【附属著作権研究所事業会計】

### 1.重要な会計方針

#### (1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 貸借対照表

平成23年 3月31日現在

社団法人 著作権情報センター  
共通目的基金受託事業 ( sarah・SARVH計 )

( 単位 : 円 )

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	64,852,810	52,800,088	12,052,722
流動資産合計	64,852,810	52,800,088	12,052,722
資産合計	64,852,810	52,800,088	12,052,722
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	45,108,479	29,803,203	15,305,276
未 払 費 用	440,000	0	440,000
預 り 金	132,416	376,877	244,461
内 部 勘 定	19,171,915	22,620,008	3,448,093
流動負債合計	64,852,810	52,800,088	12,052,722
負債合計	64,852,810	52,800,088	12,052,722
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	0	0	0
負債及び正味財産合計	64,852,810	52,800,088	12,052,722

# 正味財産増減計算書

平成22年 4月 1日から平成23年 3月31日まで

社団法人 著作権情報センター

(単位：円)

共通目的基金受託事業 (sarah・SARVH計)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 補 助 金 等	[ 183,315,200]	[ 195,800,577]	[ 12,485,377]
共通目的基金受託収益 (SARVH)	165,802,759	165,169,018	633,741
共通目的基金1種助成収益 (sarah)	17,512,441	30,546,049	13,033,608
その他収益 (WIPO助成金)	0	85,510	85,510
経常収益計	183,315,200	195,800,577	12,485,377
(2) 経常費用			0
事 業 費	[ 152,927,205]	[ 163,358,340]	[ 10,431,135]
給 料 手 当	15,378,920	15,166,750	212,170
臨 時 雇 用 費	6,475,062	6,086,440	388,622
法 定 福 利 費	43,591	42,548	1,043
会 議 費	8,129,016	9,495,161	1,366,145
旅 費 交 通 費	5,260,726	7,660,589	2,399,863
通 信 運 搬 費	18,344,872	20,842,004	2,497,132
消 耗 品 費	1,672,395	2,552,040	879,645
印 刷 製 本 費	26,751,404	25,511,483	1,239,921
リ ー ス 料	1,029,672	1,335,012	305,340
渉 外 費	1,384,415	1,796,831	412,416
諸 謝 金	9,422,200	19,071,900	9,649,700
租 税 公 課	997,443	1,149,364	151,921
資 料 購 入 費	12,701,586	12,365,040	336,546
広 報 宣 伝 費	3,661,350	6,163,342	2,501,992
維 持 管 理 費	8,000,000	8,000,000	0
イ ン タ ー ネ ッ ト 費	10,622,220	11,086,530	464,310
委 託 費	20,952,750	12,517,640	8,435,110
支 払 手 数 料	138,470	299,410	160,940
著 作 権 使 用 料	1,903,113	1,906,605	3,492
雑 費	58,000	309,651	251,651
管 理 費 負 担 金 費	[ 30,387,995]	[ 32,442,237]	[ 2,054,242]
管 理 費 負 担 金	30,387,995	32,442,237	2,054,242
経常費用計	183,315,200	195,800,577	12,485,377
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	0	0	0

## 財務諸表に対する注記

【共通目的基金受託事業会計】

1.重要な会計方針

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
共通目的基金 受託収益	(社)私的録画補償金管理協会	-	165,802,759	165,802,759	-	
共通目的基金 一種助成収益	(社)私的録音補償金管理協会	-	17,512,441	17,512,441	-	
合 計		-	183,315,200	183,315,200	-	

## 貸借対照表

平成23年 3月31日現在

社団法人 著作権情報センター  
共通目的基金助成事業 (SARVH)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
資産の部			
1. 流動資産			
内 部 勘 定	1,391,050	1,578,863	187,813
流動資産合計	1,391,050	1,578,863	187,813
資産合計	1,391,050	1,578,863	187,813
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	1,079,582	1,522,981	443,399
未 払 費 用	245,975	0	245,975
預 り 金	65,493	55,882	9,611
流動負債合計	1,391,050	1,578,863	187,813
負債合計	1,391,050	1,578,863	187,813
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	0	0	0
負債及び正味財産合計	1,391,050	1,578,863	187,813

## 正味財産増減計算書

平成22年 4月 1日から平成23年 3月31日まで

社団法人 著作権情報センター  
共通目的基金助成事業 (SARVH)

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 補 助 金 等	[ 25,200,000]	[ 29,051,053]	[ 3,851,053]
共通目的基金助成収益 (SARVH)	25,200,000	20,401,973	4,798,027
共通目的基金第2種助成収益 (sarah)	0	8,649,080	8,649,080
他 会 計 か ら の 繰 入 額	[ 4,581,647]	[ 1,079,630]	[ 3,502,017]
一 般 会 計 か ら の 繰 入 額	4,581,647	1,079,630	3,502,017
経常収益計	29,781,647	30,130,683	349,036
(2) 経常費用			
事 業 費	29,781,647	30,130,683	349,036
給 料 手 当	6,686,240	6,590,310	95,930
臨 時 雇 用 費	3,093,253	2,789,405	303,848
法 定 福 利 費	401,922	361,216	40,706
旅 費 交 通 費	790	0	790
通 信 運 搬 費	2,698,472	2,772,200	73,728
消 耗 品 費	336,968	223,592	113,376
印 刷 製 本 費	10,328,432	11,056,924	728,492
渉 外 費	0	45,500	45,500
諸 謝 金	5,676,606	5,827,586	150,980
租 税 公 課	485,974	463,950	22,024
資 料 購 入 費	9,185	0	9,185
支 払 手 数 料	63,805	0	63,805
経常費用計	29,781,647	30,130,683	349,036
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	0	0	0

## 財務諸表に対する注記

【共通目的基金助成事業会計】

### 1.重要な会計方針

#### (1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
共通目的基金 助成収益	(社)私的録画補償金管理協会	-	25,200,000	25,200,000	-	
合 計		-	25,200,000	25,200,000	-	

# 貸借対照表

平成23年 3月31日現在

出版事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	4,799,416	8,467,892	3,668,476
未 収 金	3,222,828	4,220,929	998,101
出 版 物	19,610,480	21,565,920	1,955,440
内 部 勘 定	0	157,500	157,500
流動資産合計	27,632,724	34,412,241	6,779,517
資産合計	27,632,724	34,412,241	6,779,517
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	6,303,935	3,030,446	3,273,489
内 部 勘 定	14,351,168	16,740,221	2,389,053
流動負債合計	20,655,103	19,770,667	884,436
負債合計	20,655,103	19,770,667	884,436
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	6,977,621	14,641,574	7,663,953
正味財産合計	6,977,621	14,641,574	7,663,953
負債及び正味財産合計	27,632,724	34,412,241	6,779,517

# 正味財産増減計算書

平成22年 4月 1日から平成23年 3月31日まで

出版事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	[ 12,179,847]	[ 14,552,906]	[ 2,373,059]
出版物販売収益	12,179,847	14,552,906	2,373,059
雑収	[ 3,472]	[ 4,266]	[ 794]
受取利息	2,572	4,266	1,694
その他の雑収益	900	0	900
経常収益計	12,183,319	14,557,172	2,373,853
(2) 経常費用			
事業費	[ 19,847,272]	[ 20,823,283]	[ 976,011]
給与手当	3,042,880	3,069,840	26,960
賞与	1,154,000	765,000	389,000
法定福利費	580,591	407,331	173,260
旅交通費	9,950	6,750	3,200
通信運搬費	1,577,821	1,495,619	82,202
消耗品費	38,247	46,050	7,803
水道光熱費	33,059	35,638	2,579
賃借料	2,419,186	2,419,186	0
顧問料	105,000	105,000	0
リース料	143,062	150,286	7,224
渉外費	0	76,925	76,925
租税公課	0	400	400
広報伝費	149,362	150,550	1,188
支払手数料	57,699	56,899	800
出版物原価	6,161,730	7,869,940	1,708,210
有料出版物廃棄損	3,798,531	3,669,434	129,097
有料出版物献本費	358,581	354,152	4,429
雑費	217,573	144,283	73,290
経常費用計	19,847,272	20,823,283	976,011
評価損益等調整前当期経常増減額	7,663,953	6,266,111	1,397,842
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	7,663,953	6,266,111	1,397,842
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,663,953	6,266,111	1,397,842
一般正味財産期首残高	14,641,574	20,907,685	6,266,111
一般正味財産期末残高	6,977,621	14,641,574	7,663,953
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	6,977,621	14,641,574	7,663,953

## 財務諸表に対する注記

【出版事業会計】

### 1.重要な会計方針

#### (1)出版物の評価基準及び評価方法

出版物については、売価還元法による評価額を計上している。

#### (2)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 貸借対照表総括表

平成23年3月31日現在

科 目	一般会計	著作権法百年 記念基金会計	附属著作権研 究所事業会計	共通目的基金 受託事業会計	共通目的基金 助成事業会計	出版事業会計	内部取引消去	合 計
資産の部								
1. 流動資産								
現金預金	145,456,732	12,561,093	28,332,341	64,852,810	-	4,799,416		256,002,392
未収会費	1,487,000	-	-	-	-	-		1,487,000
未収金	-	-	-	-	-	3,222,828		3,222,828
出版物	-	-	-	-	-	19,610,480		19,610,480
立替金	37,642	-	-	-	-	-		37,642
前払費用	3,497,934	-	-	-	-	-		3,497,934
内部勘定	40,258,678	-	-	-	1,391,050	-	41,649,728	-
流動資産合計	190,737,986	12,561,093	28,332,341	64,852,810	1,391,050	27,632,724	41,649,728	283,858,276
2. 固定資産								
(1) 基本財産								
定期預金	10,000,000	-	-	-	-	-		10,000,000
基本財産合計	10,000,000	-	-	-	-	-		10,000,000
(2) 特定資産								
退職給付引当資産	21,918,200	-	-	-	-	-		21,918,200
減価償却引当資産	21,392,097	-	-	-	-	-		21,392,097
百年記念基金資産	-	15,942,365	-	-	-	-		15,942,365
特定資産合計	43,310,297	15,942,365	-	-	-	-		59,252,662
(3) その他固定資産								
建物附属設備	15,282,380	-	-	-	-	-		15,282,380
什器備品	6,682,680	-	-	-	-	-		6,682,680
リース資産	3,640,980	-	-	-	-	-		3,640,980
減価償却累計額	22,909,172	-	-	-	-	-		22,909,172
その他固定資産合計	2,696,868	-	-	-	-	-		2,696,868
固定資産合計	56,007,165	15,942,365	-	-	-	-		71,949,530
資産合計	246,745,151	28,503,458	28,332,341	64,852,810	1,391,050	27,632,724	41,649,728	355,807,806
負債の部								
1. 流動負債								
未払金	1,754,345	10,291,996	4,160	-	-	6,303,935		64,542,497
未払費用	27,375	-	-	45,108,479	1,079,582	-		713,350
前受金	2,500	-	-	440,000	245,975	-		2,500
前受会費	126,000	-	-	-	-	-		126,000
預り金	1,018,440	-	3,300	132,416	65,493	-		1,219,649
貸与引当金	2,897,000	-	-	-	-	-		2,897,000
リース債務(短期)	727,268	-	-	-	-	-		727,268
内部勘定	1,391,050	2,269,097	4,466,498	19,171,915	-	14,351,168	41,649,728	-
流動負債合計	7,943,978	12,561,093	4,473,958	64,852,810	1,391,050	20,655,103	41,649,728	70,228,264
2. 固定負債								
リース債務(長期)	1,534,815	-	-	-	-	-		1,534,815
退職給付引当金	21,918,200	-	-	-	-	-		21,918,200
固定負債合計	23,453,015	-	-	-	-	-		23,453,015
負債合計	31,396,993	12,561,093	4,473,958	64,852,810	1,391,050	20,655,103	41,649,728	93,681,279
正味財産の部								
1. 指定正味財産								
寄付金	500,000	15,692,819	-	-	-	-		16,192,819
指定正味財産合計	500,000	15,692,819	-	-	-	-		16,192,819
2. 一般正味財産								
(うち基本財産への充当額)	(500,000)	(15,692,819)	-	-	-	-		(500,000)
(うち特定資産への充当額)	214,848,158	249,546	23,858,383	-	-	6,977,621		245,933,708
(うち正味財産への充当額)	(9,500,000)	(249,546)	-	-	-	-		(9,500,000)
(うち特定資産への充当額)	(21,392,097)	(249,546)	-	-	-	-		(21,641,643)
正味財産合計	215,348,158	15,942,365	23,858,383	64,852,810	1,391,050	6,977,621	41,649,728	262,126,527
負債及び正味財産合計	246,745,151	28,503,458	28,332,341	64,852,810	1,391,050	27,632,724	41,649,728	355,807,806

正味財産増減計算書総括表

平成22年 4月 1日から平成23年 3月31日まで

社団法人 著作権情報センター

科 目	一般会計	著作権法百年 記念基金会計	附属著作権研 究所事業会計	共通目的基金 受託事業会計	共通目的基金 助成事業会計	出版事業会計	内部取引消去	合 計
一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益	12,700	-	-	-	-	-	-	12,700
基本財産運用益	225,871	11,835	-	-	-	-	-	237,706
特定資産運用益	380,000	-	-	-	-	-	-	380,000
受取入会金	76,928,270	-	10,410,000	-	-	-	-	87,338,270
受取会費	17,099,000	-	-	183,315,200	-	12,179,847	-	29,278,847
事業収益	-	-	-	-	25,200,000	-	-	208,515,200
受取補助金等	30,387,995	-	-	-	-	-	-	30,387,995
受取負担金収益	-	12,561,093	-	-	-	-	-	12,561,093
受取寄付金	3,552,682	-	6,701	-	-	3,472	-	3,562,855
雑収益	-	-	214,077	-	4,581,647	-	4,795,724	-
他会計からの繰入額	128,586,518	12,572,928	10,630,778	183,315,200	29,781,647	12,183,319	4,795,724	372,274,666
経常収益計	72,890,356	12,561,093	7,230,348	152,927,205	29,781,647	19,847,272	-	295,237,921
(2) 経常費用	36,915,561	-	-	-	-	-	-	36,915,561
事業費	4,795,724	-	-	-	-	-	4,795,724	-
管理費	-	-	-	-	-	-	-	-
他会計への繰出額	-	-	-	30,387,995	-	-	-	30,387,995
管理費負担金費	114,601,641	12,561,093	7,230,348	183,315,200	29,781,647	19,847,272	4,795,724	362,541,477
経常費用計	13,984,877	11,835	3,400,430	-	-	7,663,953	-	9,733,189
当期経常増減額								
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	-	-	-	-	-	-	-	-
(2) 経常外費用								
経常外費用計	-	-	-	-	-	-	-	-
当期経常外増減額								
当期一般正味財産増減額	13,984,877	11,835	3,400,430	-	-	7,663,953	-	9,733,189
一般正味財産期首残高	200,863,281	237,711	20,457,953	-	-	14,641,574	-	236,200,519
一般正味財産期末残高	214,848,158	249,546	23,858,383	-	-	6,977,621	-	245,933,708
指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額	-	12,561,093	-	-	-	-	-	12,561,093
当期指定正味財産増減額	-	12,561,093	-	-	-	-	-	12,561,093
指定正味財産期首残高	500,000	28,253,912	-	-	-	-	-	28,753,912
指定正味財産期末残高	500,000	15,692,819	-	-	-	-	-	16,192,819
正味財産期末残高	215,948,158	15,942,365	23,858,383	-	-	6,977,621	-	262,126,527

財産目録

平成23年 3月31日現在

社団法人 著作権情報センター

科 目	金	額
資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	256,002,392	
現金手許有高	439,901	
普通預金	253,770,428	
三菱東京UFJ銀行(一般会計)	143,430,270	
三菱東京UFJ銀行(sarah)	11,119,366	
三菱東京UFJ銀行(SARVH)	53,728,936	
三井住友銀行	4,644,314	
みずほ銀行	28,286,449	
三菱東京UFJ銀行(記念基金)	12,561,093	
振替貯金	1,792,063	
未収会費	1,487,000	
賛助会員会費	1,480,000	
研究会会費	7,000	
未収金	3,222,828	
全国官報販売組合	2,606,590	
株式会社 大学図書	159,250	
明文図書	281,803	
その他	175,185	
出版物	19,610,480	
立替金	37,642	
前払費用	3,497,934	
流動資産合計		325,508,004
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金	10,000,000	
定期預金(指定)	500,000	
定期預金(一般)	9,500,000	
基本財産合計	10,000,000	
(2) 特定資産		
退職給付引当資産	21,918,200	
退職給付引当資産(一般)	21,918,200	
減価償却引当資産	21,392,097	
減価償却引当資産(一般)	21,392,097	
百年記念基金資産	15,942,365	
百年基金預金(指定)	15,692,819	
百年基金預金(一般)	249,546	
特定資産合計	59,252,662	
(3) その他固定資産		
建物附属設備	15,282,380	
什器備品	6,682,680	
リース資産	3,640,980	
減価償却累計額	22,909,172	
造作	14,976,727	
什器備品	6,415,370	
リース資産	1,517,075	
その他固定資産合計	2,696,868	
固定資産合計		71,949,530
資産合計		397,457,534
負債の部		
1. 流動負債		
未払金	64,542,497	
未払費用	713,350	
前受金	2,500	
前受会費	126,000	
預り金	1,219,649	
給与・賞与源泉税	88,470	
住民税	103,100	
謝金報酬源泉税	156,479	
委員会手当源泉税	6,600	
その他	865,000	
賞与引当金	2,897,000	
リース債務(短期)	727,268	
流動負債合計		111,877,992
2. 固定負債		
リース債務(長期)	1,534,815	
退職給付引当金	21,918,200	
事業費	11,219,000	
管理費	10,699,200	
固定負債合計		23,453,015
負債合計		135,331,007
正味財産		262,126,527

「国と特に密接な関係がある」特例民法法人への該当性について（公表）

当法人は、国家公務員法等の一部を改正する法律（平成 19 年法律第 108 号。以下「改正法」という。）による改正後の国家公務員法（昭和 22 年法律第 120 号。以下「改正国公法」という。）第 106 条の 24 第 1 項第 4 号及び改正法附則第 12 条並びに独立行政法人通則法（平成 11 年法律第 103 号。以下「改正独法通則法」という。）第 54 条の 2 第 1 項において準用する改正国公法第 106 条の 24 第 1 項第 4 号及び改正法附則第 10 条において準用する改正法附則第 12 条、職員の退職管理に関する政令（平成 20 年政令第 389 号。以下「退職管理政令」という。）第 32 条及び附則第 4 条、特定独立行政法人の役員の退職管理に関する政令（平成 20 年政令第 390 号。以下「役員政令」という。）第 18 条及び附則第 3 条、職員の退職管理に関する内閣府令（平成 20 年内閣府令第 83 号）第 9 条及び附則第 3 条、並びに特定独立行政法人の役員の退職管理に関する内閣府令（平成 20 年内閣府令第 84 号）第 8 条及び附則第 3 条の諸規定に関し、「国と特に密接な関係がある」特例民法法人に該当しないので、その旨公表いたします。

[本件連絡先]

電 話 03 - 5353 - 6921

F A X 03 - 5353 - 6920

電 子メール [copyright@cric.or.jp](mailto:copyright@cric.or.jp)